助成・寄付寄贈報告

◆ NHK 歳末たすけあい助成：東日本大震災被災者支援活動「OHANA」でのマスク送付とアンケートに対して
◆ 公益財団法人 SOMPO 福祉財団 NPO 基盤強化資金助成金：みつばち伊豆「みかん」の園庭大型遊具に対して
◆ 三島信用金庫 社会福祉活動助成金：みつばち伊豆「みかん」の園庭大型遊具に対して

厚く御礼を申し上げます

研修会・講演会のご案内

◆ **定期研修会「Be サポ事例研究会」**
研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行っています。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思います。

日時：原則、毎月第 3 水曜日 18：30～21：00　　場所：プラサヴェルデ沼津
参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円／1 回
参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。
今後の予定：1/20、2/17、3/17
※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）を申請しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
：伊豆市・伊豆の国市・清水町
教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
：函南町・清水町・伊豆市
市民メンタルヘルス相談 ： 伊東市・富士市
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

不登校・ひきこもり支援事業
沼津市 ： 東部圏域　居場所「なごみ」
伊豆市 ： 伊豆圏域　居場所「とっこ」（県委託事業）

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンターみつばち
----------沼津市----------
保育所等訪問支援　／　児童発達支援「あんず」
放課後等デイサービス「かりん」
----------伊豆市----------
放課後等デイサービス「みかん」

相談支援事業
指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぽーと」

Be サポート会員募集中

NPO 法人とは、利益を目的とせず社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 50 賛助会員 4 名（2020.12 月時点）で活動しております。
私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

クローバー通信

2021 年 1 月 15 日発行 Vol.25

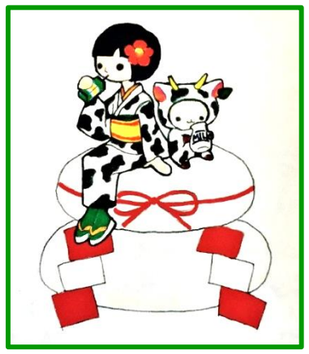
NPO 法人 臨床心理オフィス Beサポート
〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201
Tel/Fax 055-925-1701
Mail be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

- 新型コロナウィルス感染症対策として、Be サポートではすべての事業において「手指および室内の消毒」「常時換気」「マスク着用」「検温」等を実施しております -

新 年 の ご 挨 拶

謹んで新春をお祝い申し上げます。
旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

昨年は、新型コロナウィルスの世界的な流行により生活様式が大きく変わり、耐え忍ぶ 1 年だったように思います。特別措置法に基づく緊急事態宣言が 3 月に発令され、法人の委託されていた業務では、乳幼児健診・療育教室・発達相談の中止・延期、各学校の休校により、教育関係の業務の中止・延期が相次ぎました。各施設の利用者も減少傾向にあり、法人の運営という面でも、大変厳しい状況が続いています。
感染拡大の予防対策も各種講じています。スタッフ・利用者の検温、手洗い・手指消毒の励行、マスクの着用、こまめな換気、また多くの方が来所される法人事務所には空気清浄機を設置しました。未だ、コロナウィルスの収束の目途はたっていない状況ですが、それぞれが感染拡大を予防する意識をもち、業務にあたりたいと考えています。



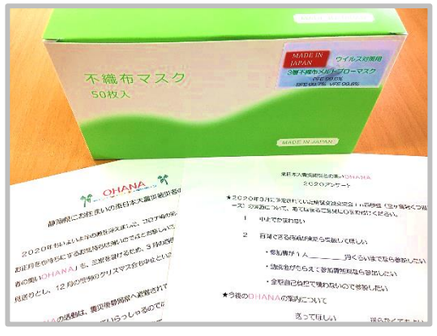
そんななか、かねてから準備を進めていた「みつばち伊豆」を開設することができました。地元の方々、日向区長様にもご協力いただき、大変感謝しております。伊豆市の健康福祉部、教育委員会とより一層連携の強化を図り、サービスの充実に努めたいと思います。

手弁当で数名からスタートした当法人も、今年で 11 年目を迎えます。コロナ禍という厳しい状況ではありますが、スタッフ一丸となって、この状況を乗り越え、地域貢献を継続できるよう励んでいきたいと思っております。
本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

※ 左のイラストは「とっこ」のメンバーさんの作品です (^▽^)/

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

東日本大震災の翌年から毎年開催してきた OHANA のクリスマス会ですが、今年はやむなく中止といたしました。
その代わりに、NHK 歳末助け合い運動の助成金をもとに、掛川市の会社が製造している不織布マスク一箱を被災経験者の方々にお送りしました。同封のアンケートが少しずつ届き、「子どもの就職が決まりました」などのうれしいお知らせ、ご家族が他界されたという悲しいご報告、仲間と会うためや情報交換のためにも今後も続けてほしい、という声が寄せられています。
Be サポート設立時からの事業であるこの OHANA の活動を、どのような形で継続できるか、考えていきたいと思います。



活　動　報　告

障害児総合サポートセンターみつばち伊豆「みかん」

みつばち伊豆　～畑の収穫編～

昨年の 10 月から、みつばち伊豆では小さな畑をスタートしました。今まで荒れ地だったところを畑にしたので、土の中には石ころも多く、決して良い土壌とはいえません。ですが、植え付けの楽しさ、継続してお世話することの大切さ、収穫の喜びなど、子どもたちと体験したいと思い、始めました。まずは、ほうれん草・かぶ・大根・ブロッコリーを植え、時間をあけて、えんどう豆・春菊を植えています。

ほうれん草・かぶ・大根は、収穫が出来、保護者様にもお分けしています。どんなお料理に変身したか、子どもたちと食べた様子など、お話を伺うのもスタッフの楽しみの一つです。

畑の作業は、集中して作業をすることが苦手な子どもたちなので、あっという間にお手伝いが終わってしまうことがまだまだ多いです。けれど、今後も野菜作りを通して、子どもたちと一緒に、育むことの大切さを体験していけたらと思います。

障害児･者総合サポートセンターみつばち「あんず」

12 月になり、あんずではクリスマスリースを制作しました。ペーパー芯をカラフルなテープで巻き、キラキラのベル飾りやモール、皆で拾って集めたどんぐりやまつぼっくり、ポンポンボールを好みに付けて、とても素敵に仕上がりました。みんなの作品を集めて大きなリースにして楽しいクリスマスの壁面になっています。サンタさんに何のプレゼントをお願いするのかな？鬼滅の刃、仮面ライダー、プリキュア、シルバニアなど嬉しそうに教えてくれます。折り紙で作ったアドベントカレンダーでクリスマスになるのを楽しみに待っています。

年賀状も作りました。来年の干支は丑。子どもたちの作るかわいらしい牛さんたちは、とても生き生きとした表情です。

障害児･者総合サポートセンターみつばち「かりん」

今回は、最近のかりんの「一日の流れ」を紹介したいと思います。

まず、学校から帰ってきたら、手の消毒と検温。近頃はスタッフが体温計を構える前に、「熱計ってください！」と言いに来る子どももおり、新しい生活様式が定着してきていることを実感します。

次は、宿題に取りかかります。量やペースに個人差はありますが、決められたところまで頑張って取り組みます。

その後は、子どもたちお待ちかねの遊びの時間です。最近は、手作りのバットとビニールボールを使っての野球遊びが流行りです。バッターやピッチャーの順番を守りながら、皆で楽しく遊びます。

遊びの後は、気持ちを落ち着かせる黙想を 2 分間行います。黙想後おやつを食べて、帰りの会です。ひらがなが苦手な子たちが増えてきたこともあって、最近は絵本を使ってひらがなを覚える練習もしています。

今後も、コロナ対策を行いながら開所を続けていきます。

活　動　報　告

東部圏域の不登校ひきこもり支援　居場所「なごみ」

「なごみ」では新型コロナウイルス対策のため、大勢の人が集まる場所を避けたり、調理や会食も控えている現状です。そのため室内レクが多くなりましたが、ペーパークラフトで季節の物を作ったり、定番となったトランプでその日の活動を締めくくっています。

「なごみ」には「卒業」がありません。利用者さんが就労されていても、いつでも利用ができます。登録している利用者さんで、8 月に就職先が決まり、活動には参加できなくなりましたが、時々ラインで近況報告をしてくださる方がいたり、関東方面に就労して単身生活している方が、休みを利用して沼津に来て顔を見せに来てくれたこともあります。突然の来訪でびっくりしましたが、元気そうな様子や仕事を大変な思いをしながら頑張ってやっている話を聞くと、スタッフも嬉しくなります。旅立った船が母港に戻ってくるイメージで「なごみ」はいつでも待っています。

クリスマスツリーなどの飾りつけをしました。11 月早々にツリーの飾りつけをし、リースは利用者さんが丁寧に毛糸を巻き付けてくれてきれいなクリスマスカラーとなり、それに飾りつけをして、飾ってあります。

県委託　伊豆圏域の不登校ひきこもりサポート「とっこ」

「とっこ」の会場の裏には狩野川が流れていて、利用者さんと川面を眺めることもよくあります。白いサギが悠々と飛んでいたり、カモやカワウの群れが集まってきたり、そんな事が話のタネになったりして、のんびりと時間が流れています。

秋からはいろいろな物を作りました。外部講師を招いての陶芸体験、スタンプやフェルトを使ったオリジナルエコバッグ、刺繍糸を選んで作るミサンガ、百均の正月飾りを利用したクリスマスリース等、利用者さん達はそれぞれのペースで作っていき、個性的な作品ができました。中には家に持ち帰って完成させてくる方もいて、時間をかけて作ってくれた事がうかがわれる出来映えに、企画したスタッフもうれしい気持ちになりました。作りながらちょっとしたお話をするのも楽しいひとときです。

その他、アニメ DVD を見たり、入り口ののれんに刺繍をしてもらったり、百人一首をやったり（スタッフ完敗…）、家で作ったオリジナル新聞を見せてもらったり、利用者さん達のアイデアで活動は様々です。できる事、やりたい事からゆっくり進めていけばいいのだと考えています。

スマホを使った活動も続いています。なかなか外へ出にくい現在、金曜日の開所時間にちょっとしたやりとりができる事で活動が広がります。2021 年もよろしくお願いします。

清水町　巡回相談について

Be サポートでは今年度から清水町のすべての幼・保・小・中学校の巡回相談を請け負うこととなりました。巡回相談では、主に発達面でご心配のあるお子さんの相談をお受けしています。たとえば、学習面や生活面・対人関係などで、「頑張っているのにうまくいかない」「みんなと同じようにできない」といった様子があらわれているお子さんです。保護者の方、学校の先生方とお話をして、どのように対応していけばよいか、周囲の方はどんなサポートをしていくことができるか、などについて一緒に考えていきます。

必要に応じて、お子さんに能力検査（WISC-Ⅳ知能検査）を実施しています。何が得意か、苦手かなど、知的能力の特徴が示される検査です。検査結果を今後の生活に役立てていただけるよう、丁寧にご説明することをこころがけています。